広報かじき

No. 226

昭和49年7月1日

発行／加治木町役場
編集／総務課文書係

苗代の水落とさるる日和かな

（牧笛郎）

のどかな苗取りも機械植えの流行で数が少ない（里ノ下で）

昭和49年 **7** 月号

◆メモ　人口／19,981　男／9,423　女／10,558　世帯／6,434　（49年6月1日現在）

受彰おめでとう

部落の体育部長を十五年続ける 松元緑さんほか 四百四十一人を表彰

◇昭和48年度◇ 町総合表彰式

昭和四十八年度の町総合表彰式は五月二十八日、町福祉センターで行われ、総務、教育、税務、経済、福祉などの各部門で活躍され立派な成果をおさめられた個人や団体・グループの代表者など四百四十一人が表彰されました。

加治木税務署長や町議会議長など、来賓の祝辞のあと、受彰者を代表して明治乳業・鹿児島工場の中村数広さん(三六)が「大勢の中から選ばれたことを大変光栄に思います。これを機会に無力ではありますが今後より一層の努力をいたします」とお礼のあいさつをのべました。

当日の各部門ごとの表彰内訳は次のとおりです。総務関係六、▽税務関係一三七、▽福祉関係一七九、▽経済関係一一三。

次に主な受彰者を紹介します。

表彰をうける野元・小浜・城・木場さん

町行政連絡員として永年、行政に寄与

小浜　末雄（西諏訪・五年）
城　松夫（高井田・〃）
木場フヂエ（岩原東・〃）

火災発生に際し初期消火で全焼防止

九州電力・加治木営業所＝三月八日午後四時半ごろ発生した新道の火災に際し、いち早くかけつけ社員協力して初期消火につとめ、火元の全焼および近隣への類焼をくいとめる要因をなした。

町職員として永年、行政に寄与

野元茂(勤続二十八年・岩原東)昭和二十年　同町役場入り、昭和四十八年十二月町立図書館長を最後に退職。

本町の教育振興に寄与

有村連（日木山）＝町教育委員や同委員長などの要職を四年間つとめ、四十八年九月辞任。

本町の社会教育に貢献

稲恒肇（中塩入）＝部落自治会長、塩入公民館長の役職を四十二年から六年間つとめ、部落や地域の振興に貢献された。

本町の社会体育に貢献

小浜氏長（仮屋町）
馬場忠彦（田　中）＝ともに三十九年から十年間にわたり、町スポーツ振興審議会委員として活躍本町スポーツ振興に貢献された。

本町の社会体育に貢献

古川芳夫（吉原）＝第一回町民体育祭から選手として連続出場、地区体育部長、部落体育部長として活躍。とくに部落運動会を企画運営、地域社会体育の向上発展に貢献された。

松元緑（岩原東）＝部落体育部長として十五年活躍、明るい部落づくりに努力、本町のスポーツ振興に寄与された。

納税組合長として町税の納入に貢献

荒武綾子（川原）▽森隆義（西諏訪）▽鶴田末一（中塩入）▽中元和子（岩原西）▽坂元絹子（豊町）▽山元トミ子(里上)▽岩元千年（日木山黒川）

町商工業の振興に永年、寄与された

大山綱男（西町）▽林敏克（新富町）▽美坂猪三郎（西町）

町内事業所の優良従業員

岡元和広（川信産業・竹下）
樗木年男（大協石油・吉原）
池田いつ子（大英建設・諏訪町）
中村数広（明治乳業・提水流）
大山信一（エビスヤ・蒲生町）
福崎清文（南日本電工・姶良町）
木山祥子（明治乳業・福山町）
村田文子（丸高衣料・姶良町）

四百四十一人の受彰者のみなさん、おめでとうございます。これからもお元気で、それぞれの部門でご活躍ください。

今月号は緑と黒の二色刷でお届けしますこの二色刷は吉屋印刷が二色機の購入を祝し且つ本紙の永年に亘る御用命に対する町への報恩の微意によるものです。

助産婦一筋五十年

厚生大臣表彰

手がけた赤ちゃん一万人

町内・岩原の
高瀬キミさん（72）

助産婦をはじめて五十年、この間に手がけた赤ちゃんは約一万人にもおよぶという、元気なおばあちゃんが、五月二十八日厚生大臣表彰を受けました。

町内・岩原の高瀬キミさん（七二）がこの人で、昭和二年、二十四歳のとき、夫が病死、二人の男の子を抱え助産婦として生きることを決意「あのときは、ただ無中でしたね。そのかいあって一年後に免許をとりました…」と当時を思い出しながら、次のようによろこびを話していました。

「ちょうど〝産めよ、増やせよ〟の時代でしたね。一日に五人も産ませたときもありました。戦後はまたベビーブームなんて時代もありましたね。戦争中のお産は大変でした。空襲のさなかに防空ごうで産ませたことも何回かありました。うれしいことは、出にくい赤ちゃんが無事に産まれて親子とも元気なときですね。ときには子どもの誕生日です―と便りが来たときは、何をおいて一番うれしごあんど…。町内や帖佐、蒲生、重富溝辺あたりにも出かけもした。親子、孫の三代とも、わたしがとり上げた家もあります。これを言うと、すっかりおばあちゃんになりもした」と、目を細めて笑う高瀬さん。まだまだ元気にカバンを乳母車に乗せて往診に出かけます。

これまでに県知事や県医師会、それに日本助産婦会などから、感謝状や表彰状を受けています。

表彰おめでとうございます。

美坂秀一君ら十五人が入賞

虫歯予防の図画ポスター

郡歯科医師会が、虫歯予防の思想を高めるために郡内、国分市の小・中学校の児童、生徒を対象に募集していた図画、ポスター作品の入賞者が六月十五日に決まり、当町から、錦江小四年の美坂秀一君ら十五人が入賞しました。

金賞　美坂秀一（錦江小四年）
〃　木原博樹（加治木中一年）
〃　岩下秀子（　同　二年）
〃　片平康敏（　同　三年）
〃　神宮洋一（錦江小・特殊学級）
銀賞　右田貴子（錦江小六年）
〃　頴川浩一（　同　）
銅賞　服部威史（錦江小五年）
〃　郡山　隆（　同　六年）
〃　二階堂理恵子（加中一年）
〃　米沢和子（同二年）
〃　池田重子（同二年）
〃　中間博英（同三年）
〃　塚本知子（同三年）
〃　中木原誠（錦江小・特殊学級）

「入賞おめでとう」

赤ちゃんは母乳で育てよう

私たちの周囲の赤ちゃんは、現在では三分の二以上が「ミルク」で育てられています。しかもその傾向は、ますます増えているというのが実状です。

たしかに最近の人工栄養の進歩発達は否定できませんが、自然のものがみなそうであるように、母乳はもともと神秘なものであり、人工栄養はこれに追いつくことはできません。

母乳はなぜよいか

生後四週間以後の乳児死亡率からみますと、人工栄養児は母乳栄養児の四倍という高い死亡率を示しています。また病気にかかる割合いからみても、母乳栄養児の方が優れています。それに細菌やヴィルスなどによる感染症にもかかりにくいといわれています。

これは母親がもっている免疫性が母乳にあるからです。さらに母乳ならば生まれてすぐの赤ちゃんでも、一時間半ぐらいで完全に消化されますが、ミルクでは最低三時間はかかります。

母と子の肌のふれ合い

人工栄養に頼っているお母さんたちはよく「お乳が出ないものですから」といわれます。立派な赤ちゃんが生まれたのに母乳が出ないのが不思議であって、母乳で育てようという強い意志を持たなければなりません。出るのを待つということでなく、出そうとする努力をしなければだめということ。

母乳を出すには妊娠中から注意が必要ですが、とくに大切なことは十分な栄養をとることと、乳房の手当を怠らないこと。乳房の手当については保健婦さんや助産婦さんの指導を受けて、正しい手当の方法を覚えて欲しいものです。

産後二、三日は母乳はあまりよく出ないものですが、その後はどんどん出るようになりますので、必ず赤ちゃんに吸わせるようにしてください。この時期に人工栄養にすべてを頼ることは禁物です。

最後に母乳は、授乳する母親とその乳を飲む赤ちゃんとの間に、肌の触れ合いが生む、暖かい愛情の交流という、心の健康も生まれることを知ってください。

赤ちゃんにとって、心と体の両面から、母乳に優る栄養はないということを認識して、ぜひ実行してもらいたいものです。

〝もうすぐ夏休み〟

子どもの生活設計が大切

夏の放任は非行へチャンス

「夏休み」も、もう間近です。楽しみに待っている子どもとは反対に「四十日間も朝から晩まで、まったく世話がやける」という母親の声もよく聞きます。

この長期の休暇は、子どもの自律心や自主性を育て、日常生活におけるエチケットやマナーを身につけさせ、かねてできない病気の治療や継続的研究などをもたせるのには、最もよい機会でもあります。

休み中の行事予定や生活目標をたてる

まず大切なことは、子どもとじっくり話合って休み中の行事予定をたてたり、一日の生活表や生活の目標などを立てることです。

▽夏休みは、暑さから子どもたちを守るためにあるのですから、きゅうくつな計画はさけ、子どもが実行できる生活設計をたてる。

▽早寝早起きや昼寝など適度の休養をとらせるとともに、運動や勉強も継続的に、しかも過度にならないように計画する。

▽ラジオやテレビも時間や番組を選んで計画的に見せて、規則正しい生活が保てるようにすることが大切です。

▽学習についても学力を補充するよい機会です。不得意な教科に取り組んだり、基礎学力をつけたり、そのほかいろいろの採集、継続的な観察、読書など、長い休みでなければやれない幅広い勉強をするような心がけも必要です。

▽ムシ歯、目、耳、鼻など、かねてできなかった病気の治療もぜひこの機会にすませる。

子どもの服装や交友関係に注意

この頃には六月燈などの催し物もあり、夜間の外出や夜ふかしをしがちな時期です。目的のない夜間のブラブラ外出は、非行のもとになります。つねに子どもの服装や持ち物、交友関係にも十分、気をつけることです。

このほか交通事故、水難事故、危険な遊びによる事故など、とくに親が気をつけて欲しいことです

生活に変化をもたせる工夫

休みを利用した地域活動も活発になりますが、これにも積極的に参加して、社会性や奉仕の精神、地域への連帯感などを育てたいものです。

ときには、家族で墓まいりに帰省したり、親類を訪問したり、ピクニックに行ったりして生活に変化を持たせることも気分転換のために大切なことです。

できれば週に一回ぐらいは、家族そろってその週の反省をし、次週の生活目標や改善点について話合うようにすれば、親子の対話もでき、なごやかな中に規律ある楽しい夏休みが過ごせると思います。

夏の交通事故 ボンヤリ運転

陰などで ひと休みする

七、八月は水銀柱とともに交通事故の数も、うなぎのぼりに増加し、なかでも暑さからくる「ボンヤリ運転」の事故が多く発生しています。

車をとめてひと休み

▽…運転中に、つぎのような状態になったら要注意。すぐ車をとめて深呼吸や軽い体操をしたり、冷たい水で顔を洗ったりして、ひと休みし、疲れをとるようにする

①目がショボショボして、まぶしくなる。

②頭がぼんやりして、前方がボやけてくる。

③まぶたがピクピクする。

④なまあくびが出る。

⑤頭が重く、肩こり、全身がだるくなる。

⑥運転が落ちつかない

原因は「とび出し」

▽…七、八月は子どもの交通事故も増えています。これは夏休みという解放感からくる緊張のうすれ、生活の不規則、行動範囲の拡がり、遊びづかれなどで、このため注意力、判断力、行動力をにぶらせているためと考えられます。

子どもの交通事故の原因は、そのほとんどが「とび出し」や「車の直前、直後の横断」です。

子どもの事故でも、とくに幼児（六歳未満）の事故が多く、母親の責任を問われるようなものが多く発生しています。

お母さん方にお願い

そこでお母さん方へお願いしたいことは、幼児は手もとにおいていつも目を離さないようにし、交通安全についての、しつけ教育を徹底し、悲惨な交通事故から幼い命を守ることを心がけてください

また、車を運転する人も子どもの特性を考え、子どもの近くや、住宅街、路地の多いところを通行するときは、細心の注意をくばり安全運転につとめてください。

寝冷え

むし暑い夜など、お子さんは裸で寝たがりますが、気をつけていて、遅くとも十二時ごろまでには腹巻きを着けてあげてください。

おなかを冷やしてしまうと下痢しやすく、翌日、強い日射しにあえば目がクラクラして吐き気を起こします。日射病というのは概して前夜の冷えが原因しているようです。

お子さんばかりではなく寝冷えは翌日に影響しますから家族そろって「寝るときはおなかを冷さない工夫を」。

話題あれこれ

『ごくろうさま』園児が警察署訪問

町立錦江幼稚園の園児八人は六月十七日、田中香代子先生に引率されて加治木警察署を訪問。

牧園署長ら八人の署員に園児代表の見方郁子ちゃん(六つ)が「お巡りさん、毎日ご苦労さまです」とあいさつ。花束や加治木郵便局からのお巡りさん誕生百年記念・郵便切手入りの額ぶちなどを贈りました。

お巡りさんたちは、小さな訪問者にテレながら大きな手をさしのべ「どうも、ありがとうネ」

入院児を貝掘りに 漁協婦人部が招待

町漁協の婦人部は六月十二日、町内にある国立南九州病院の筋萎(い)縮症病棟の子どもたち二十二人を、病院のすぐそばにある須崎海岸の貝掘りに招待しました。

子どもたちは一人ずつ付き添いの看護婦さんや先生、役場職員におんぶされたり、抱きかかえられたりして波打ち際まで行き、ザクザク出てくる大小の貝に大よろこび。不自由な手で、さかんに貝をひろっては見せ合い、あちこちで歓声があがる。病院の夕食時間(四時)を気にしながらも面白いのか「先生きょうは夕食ぬきにする」という子どもの声に漁協関係者や付き添い一同大笑い。漁協婦人部も十二人が出て十五キロの貝を手みやげにプレゼントしました。

初期消火は婦人で 須崎部落内で訓練

六月十六日(日)町内の須崎部落で婦人部(宮路みつえ会長)による消火訓練が行われ、同部落の老若婦人会員百人あまりが参加。

錦江分団の須崎消防班長の指導でホースの接続、消火栓の操作、放水、バケツ・リレーなど一応の消火操法を特訓。

「日中は、女こどもだけの家が多いので、留守をあずかる主婦が万一のときに何も知らないでは家や部落は守れない。実際にホースをつなぎ、水を飛ばしてみて消火の重大さがわかった」と汗をふきふき主婦の一人は話していました。

「部落の一空家から出家、付近の人家に類焼のおそれあり―」という想定で行われた消防訓練も婦人の手で、何なく無事に鎮火。

乳児と三歳児検診 入賞児九人を表彰

町健康管理推進協議会(曽木隆輝会長)は、このほど総会を開き四十八年度の決算や新年度予算案などを審議したあと、二十九人の推進委員に委嘱状を交付しました。

このあと推進協が行なった春・秋の乳児検診と三歳児検診の入賞児が表彰されました。

受彰者は、次の子どもたちです

▽春の乳児検診

森和幸(黒川団地)堂森かおり(永原)山上周一(高井田)塩満美穂子(竹下)

▽秋の乳児検診

年永昭人(竜門団地)梅木ゆかり(南汐入)肥後浩太郎(春日団地)

▽三歳児検診

岡元幸紀(於里)山口直美(垂ノ口)

おめでとう ございます。

三万台目の電話が 溝口さん宅へつく

加治木電報電話局管内(姶良郡国分市)で三万台目の電話が、六月二十一日、町内・新道の溝口宏二さん(四〇)の店につきました

杉本典夫同局長が出向いて「管内の電話設置、三万台目です。またプッシュホンも管内で第一号です。おめでとうございます」とのべて花束や記念品を贈りました。

このあと溝口さんが北海道の美映営林署長官舎にいる妹の武田文子さんと記念通話、三万台目の電話設置を喜び合いました。

明治四十一年二月に姶良郡で初めての電話が加治木についてからことしで六十六年目。三万台に達した現在では九九・九パーセントがダイヤル化。なお加治木町は三十六年九月にダイヤル化されています。

1位（1.65キロ）川野光哉さん

＝町漁協のキス釣り大会＝

町漁業協同組合では六月二十三日「水産の日」を記念して〝キス釣り大会〟を行いました。

当日は参加者百五十人が釣り船三十五隻に分乗、午前五時から午前十一時半まで須崎沖の錦江湾上でキスを求めた。当日の成績は次のとおり

①川野光哉（一・六五キロ）
②清松さん（一・六二キロ）
③上平田さん（一・五八キロ）
④徳田さん（一・三九キロ）
⑤松本さん（一・三六キロ）

敬老賞、前田為雄（七四）

寄贈

分譲宅地内にある道路や公園地など

分譲地内の公園

町内の吉原（字橋口）に昨年から宅地造成を着工していた太陽ハウス（株）は、工事完了を機に、このほど造成地内にある公共的な施設等を町に寄贈されました。

道路敷地＝幅二～六㍍・延長八百三十七㍍▽公園敷地＝五百八十五平方㍍▽上水道管＝延長七百二十三㍍▽施設＝ブランコ、児童用砂場、公園用水銀灯一基、ツツジ六十三本など。

ありがとうございました。

電話三万台・記念植樹

加治木電報電話局では、管内の電話三万台突破記念にクロガネモチ一本を町に寄贈、このほど町内の天神・児童公園に植えました。

竜門句会

花うつ木また家空きし宵の雨　松永　愛子

老鶯やはるか渡間に瀬の応ふ　井之上透山

旅果つる浪速の夜は梅雨もよい　横山　江南

まくなぎを払いつ宮に賽しけり　白尾　建樹

動けぬと知ってかわれを蚊が狙う　田代　俊一

病む身には日の出待たるゝ五月闇　伊丹　司郎

振り返った浜に見つけた僕だけの夏　塩満　篤夫

五家荘若葉を照らす月濡れて　鶴田　耕

鎖のままの犬が帰る口とがらし　永田　禾陽

孫はしゃぐ車外に若葉まぶしくて　中山　待香

父が著し形見の絣衣更　三浦　大鵬

墨客を迎えつつまし梅雨の雷　林　玄洋

父の日の胸に花なし菊を挿す　恒吉　斗南

運動にご協力を

加治木郵便局では六月一日から八月三十一日まで「家計の明日を築く郵便貯金・奨励運動」を行っています。

同局では、郵便貯金の増強をはかるため、この運動に対する町民の協力を呼びかけています。

今月の納税　保険税（第二期）

第一回　〃〃〃〃家庭の日

写真・標語コンクール

県と県青少年育成県民会議では家庭の日を中心とする明るい家庭づくり運動を、さらに盛りあげ、定着させるために「家庭の日を象徴する写真と標語」を募集しています。

応募作品内容

▽カラー写真部門　家庭の日を象徴する写真で、なるべくポジカラーフイルム6×6か6×9センチなどを使用しキャビネ版大に伸ばしたものを添付する（35ミリフイルムでも良い）

▽標語部門　家庭の日を象徴する標語で、官製ハガキに二点以内

応募の方法

応募作品には、住所、氏名、性別、年齢、所属等を付記する。

応募の期間

十月十五日（火）から十月二十日（日）まで

作品の送り先

〒八九二＝鹿児島市山下町十四の五〇＝県庁青少年課長あて。

※発表は十一月上旬に新聞発表。

パート収入と税金

最近，パートタイムで働く主婦がふえています。収入があるので税金はどうなるのだろうか，と疑問をもつ主婦が多いと思います。パート収入と一番関係あるのは所得税の配偶者控除です

この配偶者控除が適用されるには，主婦の所得が一定額以下であることが必要です。

昨年までは，一年間の収入が34万2,000円（月平均2万8,500円）未満でないと配偶者控除が適用されなかったので，パート収入がそれ以上になると，パートで働くのをやめてしまう主婦がいたそうです。

ことしは，そのようなことも配慮され，一年間の収入が63万7,500円以下に引き上げられました。つまり一カ月平均の収入が5万3,000円以下なら配偶者控除が適用されます。もちろん，この収入ならば，主婦に所得税がかかることはありません。

クモ合戦

笑いと興奮の四時間半

ヤマコッ三百匹出場

クモ〝三冠王〟に立山経弘さん

横にわたした細長い棒の上で、女郎グモを相対させて勝負を競う加治木名物の〝クモ合戦〟は、町観光協会（大山綱男会長）の主催で六月九日、町福祉センターホールで行われ、町内や県内外からの観客やクモを手にした出場者それに報道関係、アマチュア・カメラマンなど六百人でにぎわいました

好勝負、審判の目が光る

出場したのは大人三十七人、少年六十五人で、クモの数ざっと五百匹。このうち一人三匹しか出せないので、公式発表は三百六匹。

大山綱男会長のあいさつとクモ合戦由来の説明のあと、優良グモの選考が行われ立山経弘さん(四三)のクモが、手足や尻などの釣合いが良いとして、今年の優良グモ＝ミス・ヤマコッに選ばれました。

取組みは、大人の部と少年の部の二カ所に分けて行われ、審判長の竹内親男さん(六〇)と新福貢さん(四一)の二人によって四時間半にわたる好取組みが展開されました。

例年このクモ合戦には、珍しい観客が訪れますが、ことしはMBC学園の八ミリ教室会員十五人が来町。また七月一日に全国放映予定のNHK取材番組「新日本紀行」でクモ合戦を中心とした加治木町を取材するNHK取材班も、沢山の機材を搬入してクモの動きを、ジーッと見つめる子どもたちの顔やところかまわず大きな声でクモに声援するクモキッゲたちの真剣な表情やカゴンマ弁をカメラや録音におさめていました。

また、青い目の外国人二人もクモを手にして登場、さかんにカメラマンの注文に応じていました。この二人は加治木に滞在して鹿児島大学に通っているオーストリアウイン大学生ピーター・シャノーさん(二八)とドイツ・ボン大学大学院生パウリー・ウリさん(二五)で、とくにピーターさんは、もらったクモを出場させ「わたしのクモね二回勝ちました…」と大喜び。

和気あいあい、笑いと興奮のうちに大人の部は立山経弘さん、少年の部は浜田秋則君の優勝が決定優勝旗やトロフィにそえて、手に持ちきれないほどの副賞が贈られました。

なお、立山経弘さんは優良グモ一位、クモ合戦優勝、三勝グモ王座決定でも一位となって初の「クモ三冠王」の新記録、これでホンノコッのクモキッゲの貫録十分。

こうして古い伝統をもつ加治木のクモ合戦は、自然の環境がきれいであるかぎり、山野にクモを求め、いつまでもいつまでも、すたれることなく親から子へ、子から孫へと新しい時代へ古い伝統は、受継がれていくことでしょう。

当日の成績は次のとおりです。

▽優良グモ
①立山経弘　②入部力
③竹内広男

▽少年の部
①浜田秋則　②永野弘行
③浜田耕一

▽大人の部
①立山経弘　②川原幸三
③大吉操

▽三勝グモ王座決定戦
①立山経弘　②是枝千尋

クモ合戦

南九州病院へ

入院の子どもたち クモにびっくり

初めて見るクモ合戦に「スゴイナー」

町観光協会では、木田にある南九州病院・筋萎縮症病棟を訪問、親元を離れ、難病と闘いながら入院生活をしている子どもたち四十五人に、クモ合戦を見てもらおうと、本場所を終えた翌日、大山会長ら十人が八十匹のクモを持ってクモ合戦〝南九州病院準場所〟を開きました。

大山会長が「クモ合戦に出るのは、みんなメスのクモです。女は強いですね」の説明に子どもたちは「ホー」と目を丸くしてびっくり

取組みが二、三番すんだころ、「構え、知覧グモ。仕かけ南九州病院グモ」の呼び出しに、会場は子どもたちや看護婦さん一般の援声でいっぱい。

入院中の嘉納正博君(高校生)が病院のそばで捕えたもの。飛び入りのクモも大関級のクモには善戦及ばず惜敗「負けたけど、よくがんばりました…」と小さなクモの奮闘をほめる嘉納君。

わずか一時間あまりの準場所でしたが、町観光協会の厚意に児童代表の吐合美由起さん(十三)＝内之浦町出身＝が「見ているときハラハラしたけど、とてもおもしろかった。クモも一生懸命に戦っているんだと感心しました。わたしたちも、きょうのクモに負けないようにがんばります」とお礼をのべました。

八十匹のクモは「みんなで大事に育ててください」と全部、子どもたちにプレゼントされ、病棟前のヘチマダナなどにはなされ、観察に役立てることにしました。

婦人会だより

日常の生活や身のまわりを考えよう

昨年の石油危機以来、物価の値上がりのはげしさに驚いている間もなく、最近はますます、その度合を増し、私たち主婦は怒りにどうしようもない毎日です。

その中で「少しでも新しい生活を求め、作りあげて行きましょう」というのが新生活運動です。

この運動を進めて行くためにはやはり直接、家事にたずさわる主婦の力が大切です。

全国的に行なわれている「新生活運動」の実践事項は次のとおりです。

▽資源を大切にしよう

石油や水などの資源には限りがあります。石油を原料とする電気ガスなどは、ムダなく、手順よく考えて使いましょう。

▽ゴミや包装について考えよう

ゴミを出す前に、もう一度よく考えてみましょう。再利用できるものは、もう一度役だてましょうまた、過大包装には消費者自身が気をつけましょう。

▽ムダな買物は控えよう

買物をするときは、もう一度考えてみましょう。身のまわりには案外ムダな物を買い込んで、あとで「しまった」と思うことがあります。

堅実なことで有名なフランスの主婦は、一つのものを買うのに三度、足を運ぶそうです。

①最初は自分の目的にかなったものがあるかどうか

②二回目は、なお必要であるかどうか考え

③三回目にやっと買いましょう

ということになるそうです。私たちも、こういう主婦になりたいものです。

▽自然を大切にしよう

人間が生きていくのに、自然がいかに大切なものであるかは、ひとりひとり身にしみていることでしょう。

これらのことを私たち婦人の手で推し進め、作りあげて、次の世代に少しでも、いいものを残してやりたいものです。お互いにがんばりましょう。

香典返しを寄附

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

◇町社会福祉協議会へ

金額　ご遺族　故人

一万円　岩原西　西　貞次（母シノ）

一万円　楠　園　増田益夫（母イセマツ）

一万円　小田倉　柴喜与博（三男秀人）

二万円　西汐入中　下津佐正明（母富美子）

◇町育英奨学資金へ

一万円　西汐入中　下津佐正明

（母富美子）

※…六月二十日までのご寄付を掲載しました。

町内の在宅医

【七月】

7日　池田医院　☎②二二一〇

14日　岩崎(昭)医院　☎②二三一五

21日　大川医院　☎②二〇三二

28日　神田橋医院　☎②二〇二四

【八月】

4日　平山医院　☎②二四六八

11日　玉利病院　☎②二三二八

18日　壱岐医院　☎②二二二二

23日・24日　大井病院　☎③二二九一

25日　第一産婦人科　☎③二一五八

▽…診察時間は午前九時から午後五時までが原則です。

随想 55

イモヅル

曽木隆輝

むかし薩摩の青少年は、出世した先輩を頼って行って身を立てるものが大部分だった。カライモの産地だから世間は、これをイモヅルと称して、うらやみもし、きらいもした。

やがて世のなかは門閥とか閨閥さては学閥の時代になった。それがだんだん影をひそめると派閥が物をいいだした。人間も動物だから類をもって集まるし、集団はボスを生むしボスは子分を作る。これも一種のイモヅルか…。

さる六月十八日NHKの朝のスタジオ102で、イモヅルで和紙を作る研究が実を結び、鹿児島県国分市や加治木町あたりで工場をたてる話がでていると報ぜられたあちこちから問い合わせがくる。

なるほど一、二カ月前、東京からの来客を中心に県内二、三の所から関係者が見えた。それらの話はこうだ。イモは本県従来の特産物だし、同量のツルができる。

このツルを県内で交通上、一番便利な加治木に集めたい。これでパルプを作って、紙を製造する工場を作ることを考えている。ツルをイモと同じ価格で買えば農家も助かる。ツルは農協あたりで集めて煮て、パルプにしてもらって買いあげてもよいという。

水は、公害ことに悪臭は、河川や海水の汚濁は、ヘドロや魚介への被害は……と聞いて見るが、全く心配はないと答えられる。繊維でパルプを作ることに生涯をかけ失敗した人を思い出す。イモヅルはむれれば腐るし、霜にあえばガラガラになる。県内どこでもイモはできても、離島からまで持ってくるのは容易でない。また一部のツルは生で牛の飼料にも農家は向ける。

私は、話は一応、至極結構だがもっと細かいデータや製紙工程、工場構想や資金計画など秘密でないものをくわしく知らせてほしい。当方も、しかるべき方面で十分検討してもらって、問題がないとなれば、工場建設にもご協力しましょうと回答しておいた。加治木はいろんな意味でねらわれている。紙ができることは確かだが、実験室から工場に移すとなれば問題もあろう。とくに公害が、イモヅル変じて札束になし得られるのだろうかとひそかに思うことだった。